

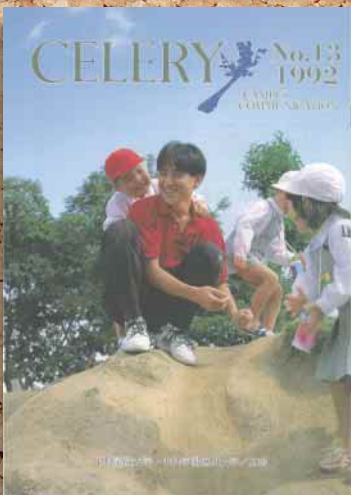
Celery

campus communication

創刊10周年記念号!

セロリ No.31 1998

中村学園大学
中村学園大学短期大学部
◆
広報誌



卒業生特集	P 1
サークル加入のススメ	P 3
管理栄養士国家試験合格者発表	P 4
教育ワークショップ	P 5
教育ローン開設	P 5
アジア栄養科学ワークショップ開催	P 5
公開講座	P 6
キャンパス公開	P 6
中村学園この10年の動き	P 7
食物栄養学科特別講座	P 9
海外研修	P 9
薬膳研修	P10
海外研修報告(坂本教授)	P10
平成9年度決算報告	P11
科学研究費補助金決定	P13
上海中医薬大学より、特別講義	P13
農業体験	P13
空き缶アートコンテストで入賞	P13
日本食品保蔵科学学会学会賞	P14
厚生大臣表彰	P14
海外出張の記録	P14
教職員の動き	P14
コラム	
「広く世界に目を向けて」	P 4
「健康生活のススメ」	P 6
「子どもの心」	P12
一冊の本「遅れてきたランナー」	P14

セロリ10周年記念企画!!



現在の建物一九九七年撮影



約10年前の建物一九八四年撮影

広報誌「セロリ」もおかげさまで10周年を迎えました。当時、本学で学んでいた学生も、今では立派な社会人として活躍しています。今回は、10周年記念企画という事で、在学時に広報誌の取材に協力していただいた卒業生の方に「昔」と「今」をふりかえってもらいました。



現在

学生時代を振り返って、どうですか？
私が今している仕事「学級づくり・授業づくり」と当時「人形劇団」竹とんぼ」でしていたことは同じだと思いましたが、今も試行錯誤しながら子どもと共に夢を与えることを目的に努力しています。

当時の思い出は？
人形劇と、教育実習です。人形劇は当時のセロリに書いてあるとおりです。教育実習は今振り返ると、そのときお世話になった先生の影響をすくく受けていると思います。決して若くはない男性の先生でしたが子どもとの距離が近く(子どももみたく)、それでいて叱るときは本当に真剣なので、子どもたちも一目置いてる感じがクラスも、みんなが一つにまとまっていました。

教育実習での学びは？
その居心地の良さを実感したわけですが、気付いてみると、今、自分もその先生と同じように子どもに接しているように思います。

当時の記事に「子どもたちに夢を与えていきたい」と書いてありま

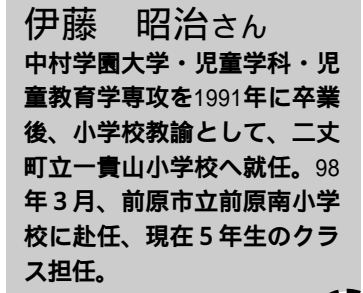


現在

学生の頃の掲載記事を見て、どう思われますか？
まずは懐かしく感じました。あれから六年もの月日が流れたなんて信じられないのが本音です。原稿の依頼を受けた時は、大変さよりも思い出作りの一環として喜んで書いたように憶えています。掲載された時の「セロリ」は卒業証書にはさんで今も大事に保管しています。

「Eト口を退職後、管理栄養士国家試験を受験されたそうですが、そのきっかけ(動機)を教えてください。
管理栄養士を受験したのは、Eト口在職中だったので、きょうけはその当時、同じ品質管理課で指導していただいた先輩(この方も中村学園短期大学卒)が受験されたことが合格されたことだと思います。仕事の上でも目標としていたし、いつか追いつきたいと思っていた先輩だったので、大いに影響を受けました。

働きながらの受験勉強は大変だったのでは？
受験の時は、教科の多さや参考書の厚さにめげたりもしましたが「やらされている勉強」と違い、「自分



学生時

伊藤 昭治さん
中村学園大学・児童学科・児童教育学専攻を1991年に卒業後、小学校教諭として、二丈町立一貴山小学校へ就任。98年3月、前原市立前原南小学校に赴任、現在5年生のクラス担任。

ですがそれは今も同じですか？
同じです。「夢を与える」という直接的・抽象的なものでなく、将来への希望をもたせる、将来夢を叶えることができるような能力をつける」というのが自分の仕事だと考えています。今は、他の学校の先生とサークルを作り、「子どもが将来社会に出ていくために、どのような授業をしていけばいいか」を研究、実践したりしています。

中村学園大学を卒業して良かったと思うことは？
こじんまりとした大学で、特に男性の人数が少なかったのが、リレー的な役割をする機会が多く、今の仕事に役立つと思っています。それと、恩師の三谷先生(一九九四年三月退職)と出会えたことです。先生の努力は不安を小さくする」という言葉は、とても大事にしている言葉です。子どものことで何が不安になることがあると、「自分の普段の努力が足りないのだ。もっと努力しなければ」と自分を戒めています。

中村学園大学を卒業して良かったと思うことは？
こじんまりとした大学で、特に男性の人数が少なかったのが、リレー的な役割をする機会が多く、今の仕事に役立つと思っています。それと、恩師の三谷先生(一九九四年三月退職)と出会えたことです。先生の努力は不安を小さくする」という言葉は、とても大事にしている言葉です。子どものことで何が不安になることがあると、「自分の普段の努力が足りないのだ。もっと努力しなければ」と自分を戒めています。

林田 由美子さん
中村学園短期大学・食物栄養科を1992年卒業後、(株)ピエトロ、品質管理課へ就職。約3年後、管理栄養士国家試験に合格し、現在、平塚整形外科(春日市)で管理栄養士として活躍中。

学生時

現在の掲載記事を見て、どう思われますか？
らの意志でやる勉強」の充実感を味わう事が出来ました。合格したのは運が良かったのだと思います。

現在のお仕事の内容について教えてください。
現在は、春日市内にある平塚整形外科にて管理栄養士として働いています。入院患者さんや老人デイケアに参加される皆さんに安全でかつおいしい食事を提供しようと頑張っています。管理栄養士としてはまだ未熟な点があるのですが院長先生や職員の方々の協力、患者さんの理解に支えられ、充実した毎日を送っています。いつの日か、地元地域に根づいた身近な存在である管理栄養士として、栄養指導・食事指導ができればと思っています。

在学時に何かアドバイスがありましたか。
大いに学び、大いに楽しんでほしいと思います。こんな私でも学生当時はさまざまな迷い、不安を抱えてきましたが、今思うことは、考えるより

人形劇に夢を託して
伊藤 昭治
児童教育学専攻三年
人形劇団「竹とんぼ」——学生有志でつくった劇団です。団員は十七名。みんな普段はそれぞれ別のサークルに入っていますが、夏休みや春休みなどに集まり、幼稚園や公民館で人形劇の公演を行います。
劇団の特徴は二つあります。ひとつは脚本も、人形作りも、練習も、全て自分達だけで行っているから完成させていくことです。それともう一つ。劇を見ての子供達に話しかけたり、同意をとめたりしながら、その部屋全体が一体となる劇をしています。だから、セロリの他にもアドリブがどんどん出て、それがおもしろかったりもするのです。
僕たちがこの活動を通して得たものは、「子どもの純粋さ」を知ることができたことだと思います。本当に子供は素直です。おもしろい時は一緒に笑い、人形達が頭張っている時は応援し、人形達が喜んでくるときは喜びます。子供達も人形劇の中に入り込み、僕達と子供達で一つの人形劇が完成するのです。子供達と接しているうちに、普段の大学生生活で忘れていた子どもの心、無邪気さを取り戻せるような気がするのです。
ありふれた言い方もしませんが、子ども達に夢を与えていきたいと僕は思っています。人形劇の中では、ある時は友情をテーマに、ある時は冒険を、そして愛をテーマに夢がどんどん広がっていきます。僕達が「竹とんぼ」に託した夢を、子ども達も受け取り、自分達の夢に見てくれれば、子ども達も夢を見たいというだけで十分です。
人形劇団「竹とんぼ」は、これから子ども達と共に夢を育んでいきたいと思っています。

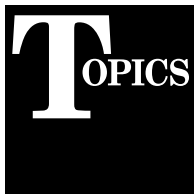
在学時にひとことお願いします。
今年の夏、中村学園大学の男子学生OB会で、在学生と話す機会がありました。マツミが言う「現代の大学生は……」という学生をイメージしていたのですが、子どものこと、教育のことを真剣に考えている姿を見てすくすくうれしかったですね。
また、最近中村学園大学を卒業した女性の先生が、私のクラスの音楽を受け持ってくれています。ものすごい情熱家で、「老人ホームでおいしい音楽を聞かせよう」という目標で音楽の授業をする、というユニークな学習をしています。
この情熱は、中村学園の伝統だと私は信じています。こんな学生がどんどん社会に出てくることを楽しみに期待しています。

明日へジャンプ
別大食物栄養科 林田 由美子
月日がたつのは早いもので、もう卒業の日を迎えようとしています。この二年間は、希望も不安も、四月からは新社会人として頑張っていくつもりです。
振り返ると、この二年間は大変充実したものでした。様々な専門科目は、栄養士免許の取得のためだけでなく、女性らしさを磨き、将来家庭をもち母親となるときにも役に立つ事ばかりであったと思います。例えば、調理実習では魚の扱い方や味つけの基本を覚えることができたし、三段おろしや会席料理づくりなど、貴重な体験もできました。
また、毎日ある班行動の実験・実習ではチームワークの大切さも学び、社会人になったときに役に立つのではないかと思います。
勉強以外で多くを学んだのがSPRINGSです。私は、中村P.R.I.N.G.S. (男女あわせて約四十名、福園学生バスケケットボール愛好会連盟に加盟)に入り、大学一年チームで二年一回のリーグ戦を行いました。我が中村SPRINGSは昨年度、今年度と女子二連覇を果たし、目下、七試合連続勝利と記録を伸ばしています。
私は約一年間、合宿担当として夏と冬一回の合宿計画・運営にあたりました。他の大学生に活動することから人間関係などの苦労もありましたが、得たものの方が数段大きくなり、私にとって大きな自信と財産になりました。
卒業にあたって、こういう素晴らしい二年間を与えてくれた両親や友人、それに恩師や先輩方に感謝するとともに、在校生の皆さんや、今年入学される新入生の皆さんにも、この短大で過ごす二年間を充実させたい、充実させたい、充実させたいと思っています。
SPRINGSのメンバーと

セロリ十周年にひとことお願いします。
おめでとうございます。「セロリ」が刻んだ十年の中に、私の過ごした二年間の記録が残る、そしてさらに続くであろう中村学園の歴史を刻みつけていけることをうれしく思います。今後ますますのご発展を心からお祈りいたします。

1992年 No.11掲載記事より

1989年 No.4掲載記事より



サークル加入のススメ

学友自治会より

「今、あなたのしていることは？」

大学・短期大学部学友自治会 サークル担当
大学 児童教育学専攻 三年 亀井 康平

中村学園大学・中村学園大学短期大学部には四十七のサークルがあり、それぞれが様々な目標に向かって活動に励んでいます。中でも野球部、ラグビー部、軟式テニス部、大学・短期大学部バレー部等は、大会で優秀な成績を残しています。また、その他のサークルも、数々のイベントに積極的に参加したり、ボランティア活動などを行っています。

このように、各サークルは自分達なりの目標をたて、活動を行っています。今回はそれらのサークルを統轄する学友自治会とその中の機関



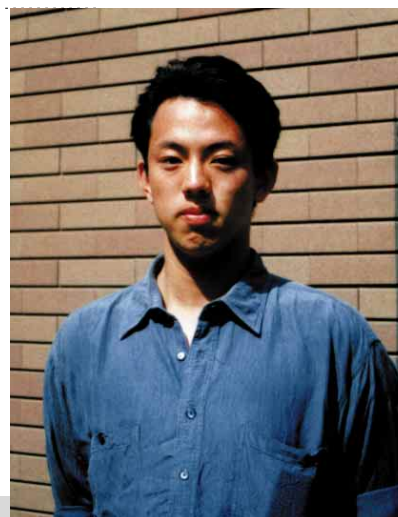
学友自治会

である学園祭実行委員会について紹介したいと思います。



学園祭実行委員会。この写真の他にもまだメンバーがいる

まず、学園祭実行委員会です。毎年、十月下旬から十一月月上旬にかけて「霜月祭」という学園祭を、総勢二百名を超える実行委員で作りにていきます。構成は、総務パートを中心とする十のパートからなり、学園祭のイベントや出店の管理、パノピットの作成まで、その全てを学生の手によって実行するものです。かつて私も学園祭実行委員会に籍をおき、その活動を共に行っていました。楽しいことも多かったのですが、どちらかといえば、気になること、心配事のほうが多かったがもしも、でもそんな苦勞もフィナーレの感動で吹き飛んでしまいます。パート長はもちろ



実際はもういろいろな活動をしています。

大学や短期大学部は、私たちにとって最後の学生生活となります。その最後の時間を過ごす中で、サークルの友人が自分にとって、一生の友と呼べる人になるかもしれません。集団で一つのものに挑戦してみるのもまた一つの思い出となるでしょう。

みなさんが、この学園に入学した理由は、それぞれだと思います。その中で自分はこの学園の中でこういうことをした、というものを作ってみませんか？そして、その思い出を語れる友人を一人でも多くさがしてみようと思いませんか？

管理栄養士国家試験

合格率三十一・六%の難関に対し、本学管理栄養士専攻は、九十七・九%が合格

平成十年五月二十四日に実施された第十二回管理栄養士国家試験の合格者が、六月十五日に発表された。今回の受験者総数は一万四千二百十三名、合格者総数は四千四百九十二名で、合格率は三十一・六%だった。

本学の食物栄養学科管理栄養士専攻の今年三月卒業生九十六名が受験し、九十四名が合格した。

また、食物栄養学専攻では今年三月卒業生七名を含め、十五名が合格している。短期大学部食物栄養科については卒業後二年以上の実務経験を経て受験資格が得られるが、二十六名が合格している。合格者氏名は次のとおり。なお、誌面の都合上、今

年の卒業生のみを掲載する。

〔食物栄養学専攻〕

實松優子・林 俊介・小野綾子
磯野由美子・後藤富美子・平林智子
富永郁子

〔管理栄養士専攻〕

高山実季・田浦美貴・播磨理恵
井上靖恵・安永寛子・西川裕子
増田奈緒子・西村知香・西 利恵子
金銅裕子・中 昌子・尾有希子
松林直子・五島寛子・橋美樹
濱 光恵・秋山尚子・田中理恵
赤羽紋子・久保田美香・井上由紀子
鍋島奈美・石原陽子・土井 歩
董嶋裕美・松本直子・伊佐照美
熱田知子・岡部良子・佐野まり子
山田麻衣子・辰本雅子・平野晶子

讀井祐美・安武健一郎・堀立留美
内田由香・松浦綾子・秀島貴子
岩元 彩・三河恵子・梅津亜澄
長野 愛・吉原文月・古屋芳子
友山幸枝・古賀里利子・野間みつき
草野さゆり・野村美緒・渡邊美智子
波田美幸・松島智子・岡島百江
大賀ちづる・宮本香那・深野陽子
舟津あゆみ・實松理絵・高比良靖子
吉武佳代・古藤亜紀子・内田朱美
砂川優子・中村美香・姫井美和子
大塚百香・福田英美・赤司寛子
福田靖子・八木幸子・土岐和代
田中麻衣・野上清香・成富由加理
村本里美・中村朋子・進野聖子
伊塚美紀・森山しのぶ・吉永真由美
田井三代子・三隅幸子・中村智子

箱田充代・宮 かな子・竹村佳代
増田賀子・大橋香織・蒲原未知奈
横山あづさ・吉村直美・身深智子
永田珠美
(受験番号順・敬称略)



広く世界に目を向けて

5

短期大学部 家政科
助教授 酒見 康廣

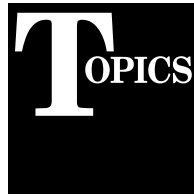
スーパーなどで買い物をしているとき、誰かに通り道をじゃまされて横切られたり、誰かにぶつかられて何の言葉もなかったりするとどうにも気分を害されてくる。アメリカのスーパーでは、人前を横切るときや道を開けてほしいときには必ず“Excuse me”、道を開けられると“Thank you”、体が触れると“I'm sorry”と声を掛けられたり掛けたりした。一年間の海外研修でその心地よさがすっかり体に染み込んでしまったようだ。

でも、アメリカは、そうしたマナーを確立しなければうまくゆかなくなる多民族の寄り合う国なのだ。日本は「すみません」「ごめんなさい」とはっきり言わなくても済ませられる単一民族的な国なのだ、つい思ったりもする。

ところで、日本は今大変な時期に突入している。日本のシステムのひずみがあった所で噴出している。それは単一民族的な発想の弊害ともいえると思う。おりしもNHKの大河ドラマの時代設定は列強に開国を迫られる幕末になっていたが、今日の日本はある意味で明治維新に匹敵するような大転換をせざるを得ない状況に追い込まれている。

かつてベルリンの壁の崩壊やソ連の崩壊を目の当たりにしてきたが、歴史に残る日本の大転換にこれから遭遇できるのではなからうか。スーパーでのマナーにまでは変化が及ばないかもしれないが、これからの日本がどう変わってゆくのか、その歴史ドラマの行方に思いは募る。

健康・人間科学の視座から
キャンパス公開を実施



「教育ワークショップ」終了
教育ローン開設
アジア栄養科学ワークショップ開催



「教育ワークショップ」終了



平成十年度「教育ワークショップ」が、九月十日に開催された。開会にあたり、山元寅男学長の「中村学園大学家政学部、短期大学の改革に期待するもの」という演題の基調講演に続いて、大学・短期大学部に分かれて発表、討議が行われた。大学は、「新教育職員免許法について」、「二十一世紀に期待される栄養士・管理栄養士への教育」、「未来からの呼びかけに答える教員養成の改善方策」について発表・討議がされた。短期大学部は、「短期大学部における教育と点検・評価私見」、「新カリキュラムと教育内容の充実」、「家政科教育ワークショップの実施例と計画（平成十年度）」、「幼児教育科の現状と今後の課題」について発表・討議が行われた。

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 教育ローン開設!

～在学中の利息は奨学金として支給～

中村学園大学並びに中村学園大学短期大学部では福岡シティ銀行と提携して教育ローンを開設する。このローンは、在学期間中は元金を据え置きできるうえ、据え置き期間中の利息は大学が奨学金として支給するため、卒業まで安心して学業に専念できるのが大きな特徴。対象は、本学に在学する学生およびその保護者で、融資金額は、納入金の範囲内（大学は十万元以上、短期大学部は十万元以上、三百万円以内）となっている。このような銀行と提携した大学独自の教育ローンは九州では初めてで、学生の就学の機会を支援し、有為な人材を社会へ輩出する、画期的な制度として、期待を集めている。詳しい問い合わせは学生課代表
〇九二一八五一（二五三三）まで

アジア栄養科学ワークショップ開催

テーマは、「健康に寄与する食の科学」

第七回アジア栄養科学ワークショップが中村学園大学大学院栄養科学研究科の主催で、十月二十四日に開催された。今回のテーマは、「健康に寄与する食の科学」。近年、急速な進歩を遂げている食品の機能性に着目し、当該分野をリードしておられる代表的な研究者を招いて講演が行われた。

まず、名古屋大学大学院生命農学研究科の大澤俊彦教授より「食品因子の生理機能研究の現状と動向」について、続いて九州大学農学部山田耕路教授より「食品とアレルギー」、広島県立大学生物資源学部の篠島豊教授より「食品由来の降圧ペプチドとその機能」、最後に台湾大学大学院食品科技研究所の張鴻民教授より「Preparation of Fabricated Shark Fins」というテーマで講演が行われた。



健康・人間科学の視座から

生きる力を考える

平成十年度の公開講座が、九月十九日、二十六日、十月三日の三回にわたって開講された。第一回は、「自然科学」の立場からタイオキシシとごみ問題について。続く第二回は、「社会科学」の立場から、子どもの自己表現と造形表現を通じた心の健康という内面的な問題を。そして最終回は、現代社会における日本人の価値意識と長寿社会における生涯スポーツをテーマに取りあげしめくられた。



当日は過去最高の参加があった

キャンパス公開を実施

過去最高の千四百四十名が参加

受験生とその保護者を対象としたキャンパス公開を八月三日（土）に開催した。天候にも恵まれ当日は、受験生約千二百名、保護者も合わせると千四百四十名が本学を訪れ、過去最高の参加となった。

キャンパス公開では、本学への理解を深めてもらうため、施設・寮の自由見学をはじめ、教職員・在学生との個別相談、学校紹介ビデオの上映や模擬講義、また、スチューデントアドバイザー（本学学生）が学内見学者を案内する「キャンパスツアー」などを行っている。特に、大学・短期大学部各学科別に行われた模擬講義では、普段体験できない大学の講義を受けられるとあって、大盛況であった。主な内容は次のとおり。

- 午前「運動生理学 競技・健康
- 午前「食物栄養学
- 午後「食生活論 食物と環境」波平元辰教授
- 児童学科
- 午前午後「自然科学・面白科学実験」宮田奈美子教授
- 食物栄養科
- 午前「臨床栄養学実習 糖尿病の食事療法」今井克己助教授
- 午後「薬食同源を基本にしたルシメコ」お菓子「三成由美助教授
- 家政科
- 午前「人口から始めよう」中谷安男講師
- 午後「情報処理 ホームページ入門」梶田鈴子助教授
- 幼児教育科
- 午前「幼稚園教育実習と幼稚園教育実習研究」松尾智助助教授
- 午後「心理学」山崎篤講師

健康生活のススメ

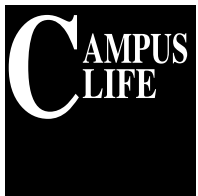
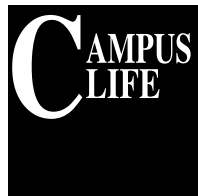
29
短期大学部・食物栄養科
教授 城田 知子

久山町における成人健診での食事調査も、今年で15年目を迎えました。65歳以上の高齢者は19%で全国平均を凌駕していますが、受診に来られる方はとても元気です。日常生活は、「適度の睡眠」と土に親しむ時間が多く「適度の運動」が維持されており、さらに知的な文化活動や「薬草教室」「薬膳教室」「味噌づくり」などの各種教室にも積極的に参加しています。都会で生活している私たちにとって、「土」に親しむ生活は難しく羨ましいことです。

すでに30年以上も昔の1965年にカリフォルニア大学のプレスロー博士は、7つの健康習慣の有無が寿命に影響していることを報告しました。標準体重の維持、適度な運動、非喫煙、適量の飲酒、朝食の習慣、間食の制限、十分な睡眠の7つです。こうしてみても健康づくりの主軸が「栄養、運動、休養」であることがわかります。

元気な高齢者の食事内容を聞いてみると、3回の食事を大事にしていること、長い歴史をもつ「米」を主食として、自給できる野菜や大豆を中心に少しの魚や肉を食する素朴な副食であることがわかります。さらに、時代の影響ともいえる牛乳の飲用者が多くなっていることも特徴でしょう。

いずれにしても、健康な長寿者の誕生や生活習慣病の予防対策としての「一次予防」は、一人ひとりが健康的な生活習慣を自分で確立することが基本になります。



平成十年度第一回特別講座 夏の食卓を彩るさわやかなフランス料理

「食」に携わる者として、「調理すること」への関心を高めると共に、豊かな感性を育むことを目指す 食物栄養学科・食物栄養科の学生を対象とした料理のブロによる特別講演並びに料理示範も恒例となつてまいりました。本年度第一回は、東京ロイヤルパークホテル総料理長、嶋村光夫氏を迎えて平成十年七月十八日に行われました。現在、日本の西洋料理界の第一人者である嶋村氏は、現代の健康志向

にあう身近な魚介類や野菜を多く使って、「最新フランス料理」を披露されました。メニューはマグロのクリスティアン、茸のスイーパーチーノ仕立て、オマール海老のフリカツセ、七面鳥のポアレ、フルーツ、スープと夏の食卓を彩るさわやかな料理でした。目的や対象にあったメニューの展開と料理の応用など、これらの専門の料理技術はもとより、食べる人々に感動を与えようとする料理作り、長年の経験

談は「料理の真髄」にふれるものでした。次回、十月中旬には料理の鉄人の中村孝明氏の日本料理を予定しています。
(文責/食物栄養学科 教授 吉岡慶子)



熱心に耳を傾ける学生

海外研修に参加して もっと英語を勉強したい!

大学 児童教育学専攻 三年 西村 友志

今回、七月三十一日から八月二十六日までオーストラリア・メルボルン大学での語学研修に参加してきました。英語は苦手だったので、英語を使って生活する自信はなかったのですが、中学校の頃から長い間学んできた英語がどれだけ通用するか、試してみたいという好奇心から参加を希望しました。

最初は緊張と不安の連続で、相手の言っていることがほとんど理解できませんでした。自分が言いたいことも十分に言えなかったため、会話がうまくいかず、英語を話すのがいやになったことは一度や二度ではありません。しかしメルボルン大学での会話の指導、ユーモアあふれる先生方の丁寧なアドバイスのおかげで少しずつ会話力が身についてくるのが分かりました。次第に周囲の人達と会話するのが楽しくなり、午後のフリ

ータイムや休日のショートトリップの時は、一人で行動できるようになりました。毎日の生活は来た当初よりもはるかに充実したものになりました。今回の研修で自分の英語力の貧しさと実践力の必要性を改めて痛感しました。もっともっと英語を勉強して、日常会話だけでなく、お互いの国の文化や習慣をも英語で話せるようになりたいと思っています。



ホストファミリーの結婚パーティにて

薬膳研修を終えて 『薬食同源』を実感

大学 管理栄養士専攻 四年 高木 泉

この夏私は、本学と上海中医薬大学の学術交流協定に基づいての薬膳研修に参加する機会に恵まれました。八月十九日の夕刻、私達一行二十三名は、大いなる期待を持って上海に飛び立ちました。まず最初の二日間はお茶とお酒で有名な杭州へ赴き、龍井茶と紹興酒の博物館へ見学に行きました。龍井茶は緑茶の最高峰で世界十大名茶の一つ、紹興酒は、世界三大古酒の一つ。いずれも美容に良いと言われる逸品でした。

講義では、薬膳の理論となる中医学・中薬学・食療中薬、そして現代の生活習慣病の処方学を学びました。その中で最も興味を持ったのが、陰陽・五行学説です。これは中国哲学の一つで、世界は陰と陽の二つの物質で構成されており、また、全ての物質は五種類の物質の運動と変化によって主成すると考えられています。これが人体の生理現象にも適用され、経絡に沿って気と血が流れており、陰陽五行の気の調和が狂うと疾病を引き起こすと言われています。これを補う働きを持つ薬膳とは、疾病治療のものだけではなく、日常から身心のバランスを保つ予防医学であると思えました。実際食してみても中華特有の油の多さには閉口しましたが、豊富な食材にますますその感を強くさせられ全料理を食しました。薬膳とは、正に「薬食同源」であると感じさせられました。



前から2列目、左から2番目が高木さん

今回の研修は、薬膳に魅了され、更なる探求心をそらせるものでした。このような機会を与えてくださった先生方に感謝し、チャンスがあれば是非、また参加したいと思っています。

海外研修報告 新しい発見の毎日

食物栄養学科 教授 坂本 喜久雄

七月から八月末まで、北京の中国社会科学院社会学研究所の招聘で、「現代中国の社会学の現状とその研究動向」に接する機会に恵まれた。周知のように、新生中国では社会学は多岐とされてきた停滞期を経て七十九年の改革・解放によりようやく復活したという経緯がある。中国の緊急課題が「現代化」であるとするれば社会学への期待は、現実の課題解決に依る実証科学としての立場である。一例をあげれば上海の都市や華北の農村を対象とした地域開発、家族社会学での多様な実態調査などは、もっと高く評価されてもよい。一方外国の研究者との国際共同研究も活発に展開され、研

究機関や研究組織のネットワーク化が一段と進展してきたという印象が強い。滞在中の宿舎は、北京外国語大学の寮に決めた。服務員のさりげない監視の目さえ感じなければ、食と安全は保証されたも同然。北京大学など大学が集中している若者の集まる活気のあるエリアであった。都心にある研究所まではバスと地下鉄を乗り継いで五十分ほど。車窓から眺める人の群と車の洪水には圧倒されたが、何か新しい発見の毎日でもあった。原因不明の下痢も治まり、やっと慣れたきた頃には、帰国がせまっていた。予定通り帰国の途にいたが空は秋の気配が濃厚なままに、北京秋天であった。



宿舎の北京外国語大学正門前にて



平成9年度決算について

平成9年度の決算については去る五月二十六日の評議員会並びに理事会において承認されました。その内容について、資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表の概要は次のとおりです。

一、資金収支計算書
「大学院・大学・短期大学部」収入の部では、補助金収入のうち、特別補助の増額及び前受金の増加により当年度の収入合計は予算に対し一億七、九〇〇万円の増収となりました。

支出の部の主なものは、西二・三号館の講義室冷房設備工事、図書館入退館システム設置工事、作業室の新築工事、正門外堀等景観工事

その他、大会議室の椅子の買替え等教育環境の整備に努めました。「女子中学校・高等学校」収入の部では、受験者数の減少に伴い手数料収入の減収となり、補助金収入は前年度に対し、僅か〇・三%の増加となりました。

支出の部では、鳥飼東校地運動場整備工事、講堂トイレ改修工事、中学棟設計管理費、第二棟トイレ改修工事、図書室電算化システム

等施設の充実をはかりました。「三陽中学校・高等学校」収入の部では、三陽中学校・高等学校の納付金を改定しました。補助金収入は前年度に対し、六・七%の増収となりました。

支出の部では、理科及び家庭科菜園設置工事

多目的ホール屋根防水工事

図書室電算化システム
以上が各学校の主な事業で学園全体としての収入の部は、補助金収入、前受金収入等の増により、予算に対し二億二、七〇〇万円の増加になりました。

支出の部では、人件費支出・教育研究経費支出・管理経費支出及び施設関係支出で予算残となりましたが、資産運用の為の有価証券購入支出により予算に対し七、二〇〇万円の支出増となりました。

当年度の収入の部の合計から、当年度の支出の部の合計を差し引いた次年度への繰越支払資金は、六億三、五〇〇万円となり予算に対し一億五、〇〇〇万円の増加となりました。

二、消費収支計算書
学園全体の帰属収入合計は、学生生徒納付金収入や手数料収入減により前年度に対し五二、〇〇万円〇・八%減少となり、反面消費支出の部合計は一億八、〇〇〇万円（三・八%）の増となりました。

基本金組入額は、自己資金で取得した施設設備支出及び借入金返済支出等の合計で五億八、〇〇〇万円となり、消費収入の部から消費支出の部を差し引いた当年度の消費収入超過額は七億九、二〇〇万円となりました。なお翌年度へ繰越す消費収入超過額は、前年度からの繰越消費支出超過額が一億一、六〇〇万円あり、これを差し引いた金額六億七、六〇〇万円となり年々改善されています。

三、貸借対照表について
資産の部では、現金・預金及び有価証券の増加により資産総額は二億四、〇〇〇万円となり、前年度末より

七〇〇万円（三・一%）の減となりました。資産総額から負債総額を差し引いた正味資産は二億四、〇〇〇万円であり前年度より十三億七、三〇〇万円（六・五%）増加しました。

以上が平成9年度における本学園の決算（収益事業部会計を除く）の概要ですが、経済情勢が厳しさを増す中、今後とも財政基盤を強化するため、自助努力を続けたいと考えております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【貸借対照表 平成10年3月31日】

Table with columns: 資産の部 (Assets), 負債の部 (Liabilities), 基本金の部 (Equity), 消費収支差額の部 (Consumption Difference). Rows include various asset and liability categories with values for current and previous years.

Table with columns: 負債の部 (Liabilities), 基本金の部 (Equity), 消費収支差額の部 (Consumption Difference). Rows include various liability and equity categories with values for current and previous years.

Table with columns: 負債の部 (Liabilities), 基本金の部 (Equity), 消費収支差額の部 (Consumption Difference). Rows include various liability and equity categories with values for current and previous years.

注記 1. 減価償却額の累計額の合計額 4,825,720,684円
2. 担保に供されている資産の種類及び額は次のとおりである。
土地 1,292,488,192円
建物 365,179,160円
有価証券 100,000,000円
計 1,757,667,352円
3. 退職給付引当金の算出方法は、次のとおりである。
法人本部・大学・短大は期末要支給額1,040,850,000円から私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。高等学校以下は期末要支給額907,597,000円から、私学退職金団体よりの交付金相当額を控除した金額を計上している。
4. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 1,153,633,500円

【子どもの心】

28

大学・児童学科
助教 有馬 陽一郎

「こどもの見えない荷物」

小学校の校長をしていたある秋の日、全校児童の鍛錬遠足に同行した。小高い丘の中腹のススキの群生のはずれで二年生の女の子達と弁当を開いた。

私の弁当は野球ボール大の握り飯に好物の高菜が巻いてある。その二個とめざしが六匹である。校長先生の弁当の中身は子供達にとって興味津津なのである。何が出来るのか、しきりに見ている。私が弁当を開くと、あるおかつぱの女の子が、ソーセージ一個と卵焼きを一切れ差し出して「校長先生貧乏なの」と言う。貰ったソーセージと卵焼きを最初に口に入れ「おいしいね。」と言った。女の子は、にっこり笑ってこっくりうなづいた。差し出したソーセージと卵焼きを私が一番に口にしたことで安心したように自分の弁当をついていた。と、女の子の箸が止まっている。どうしたのかな、と思っていると大きな瞳からポツリと涙を落としている。「どうしたの」と聞くと「お父さんとお母さんがいつも喧嘩をして、別れる」と言っているとのこと。夜、自分が布団に入ってから最近の出来事のようなのである。私は直ぐに何と言っていいのか返答に詰まった。「私のために別れないでと、お父さんとお母さんに言いなさい。」と言ってやった。二日程して母親とその女の子がにこにこして校長室を訪れた。女の子の顔色が輝いている。良かった、と内心安堵した。

子供は表面の優しさとともに内心では家庭の荷物を背負っているのです。

【平成9年度消費収支計算書 平成9年4月1日から平成10年3月31日まで】

Table with columns: 消費収入の部 (Consumption Income), 消費支出の部 (Consumption Expense). Rows include various income and expense categories with budget, actual, and difference values.

【平成9年度資金収支計算書 平成9年4月1日から平成10年3月31日まで】

Table with columns: 収入の部 (Income), 支出の部 (Expense). Rows include various income and expense categories with budget, actual, and difference values.

平成十年度科学研究費補助対象研究が決定
上海中医薬大学より特別講座
農業体験交流会で自然に触れて
空き缶アートコンテストで入賞

平成十年度科学研究費補助対象研究が決定

文部省から交付される平成十年度の科学研究費補助金が、次のとおり決定した。(平成九年度からの継続分は除く)

- 基礎研究(C)(2)
青峰 正裕教授(代表)
大和 孝子助手(分担)
[研究課題名]栄養は食行動を制御できるか 糖尿病マウスにおけるマインクタイプリシス法を用いた脳内神経伝達物質測定による検討
(補助金交付額)二百二十万円
伊藤 和枝教授(代表)
中村 元臣教授(分担)
増田 隆講師(分担)
田中 美鈴助手(分担)
[研究課題名]肥満高血圧者の減量による降圧機序 特にインスリン抵抗性と血清レニン濃度
(補助金交付額)百三十万円
宮田奈美子教授(代表)
古賀 民穂教授(分担)
[研究課題名]環境保全に役立つテナフの教材化に関する基礎的研究
(補助金交付額)二百十万円
奨励研究(A)
中野 裕史助手
[研究課題名]運動ニゴロの形態適応を惹起するトレーニング条件の確立
(補助金交付額)百八十万円
中谷 安男講師
[研究課題名]談話分析による認知

トレーニングを導入した英語学習タスクの中間言語発達過程の検証
(補助金交付額)百万円
研究分担者の掲載は、学内の研究者のみを掲載

上海中医薬大学より特別講座

本学国際交流プログラムの一環として九月二十五日上海中医薬大学から講師を招いて特別講座が行われた。又別の視野でみる本場の、東洋医学栄養学、が聞けることであつて、食物栄養学科・食物栄養科の学生はもちろん、薬膳に興味のある学生が多数参加した。講義内容は、同大学 郭忻助教授より、「東洋医学からみた糖尿病予防」、朱根勝講師より、「東洋医学からみた老化防止」といった興味深いものであつた。



講義は日本語で行われた

農業体験交流会で自然に触れて

「土ってこんな感じだったかな?先日参加したJA福岡市青年部との農業体験交流会のことです。私は久しぶりに裸足で畑の中に入り、土を踏んで来ました。交流会では、今年二月に植え付けられたマカイイモの収穫、市内の小学校にプレゼントするためのポト福の作成作業を行いました。二月にはとても小さかったという種芋から半年もたないうちに立派なマカイイモが収穫できたことに大変驚きました。私たちは生きるために欠くことのない食生活の中で例えば、お米はどのようにして出来ているのだろうか?というように、食材の作られる過程に



目をつけることがどれくらいあるでしょう。食生活に困ることなどほとんどない今の時代においてそのような機会も少ないような気がします。今回の交流会では、自然に触れ、土に触れてその大切さを改めて感じる事が出来ました。これからも、この気持ちを忘れずにいきたいと思ひます。

空き缶アートコンテストで入賞

今回TNC主催の空き缶アートコンテストへの出品依頼がテレビ局の方からあり、基礎演習Aの授業で美術を選択した私たちは、ブレメンの音楽隊をテーマに作品を作ることになりました。暇さえあれば造形室へ行き、作業を続けましたが、なかなか思うようには進まず、ちよつと試験中だったので猫と「ブレメン」が自宅に持ち帰り、試験勉強をしながら作り直しました。いろいろと試行錯誤を繰り返して、なんとか私たちの作品は完成しましたが、九産大の芸術学部も出品すると聞き、優勝はあきらめていました。作品はTNC放送会館の一階に展



作品「ブレメンの音楽隊」

日本食品保蔵科 学会学会賞



平成十年九月十日、十一日に開催された、第四十七回日本食品保蔵科学会、で、太田英明教授に対して日本食品保蔵科学会学会賞が授与された。これは、流通過程における青果物のポリアミン代謝制御機構の解明に関する研究」に対して授与されたものである。

厚生大臣表彰



平成十年度の栄養関係功労者として、本学城田知子教授の厚生大臣表彰が決定した。この賞は、多年にわたる栄養士として栄養士養成業務の功績に対して与えられるもので、平成十年十月三十日に東京で行われる栄養改善大会にて、厚生大臣から表彰を受ける。

海外出張の記録

- 氏名・職名 訪問国・期間 目的
山元 真男 学長
中国 H10.8/20~8/22
中国上海中医薬大学での講義
坂本喜久雄 教授
中国 H10.7/1~8/31
日本家族慣行の比較研究
山根 一文 助教授
オーストラリア H10.7/31~8/26
英語文化海外研修引率
古賀 信幸 助教授
オーストラリア H10.8/2~8/23
J・Bプリン 講師
J・Bプリン 講師
ニシハラ H10.8/3~8/27
英語文化海外研修引率
波平 元辰 教授
東アフリカ H10.8/15~8/29
食生態学観測点の調査・観察
権藤興志夫 教授
イギリス H10.8/16~8/17
イギリスの学校視察
韓国 H10.9/17~9/18
日韓海峽圏研究機関協議会98年度総会
三好 隆三 教授
ドイツ H10.8/20~9/7
ホルン演奏法、ホルンに関する楽曲の研究他

教職員の動き

- 退職
(平成十年九月三十日付)
経理課課員 望月 智美
新任
(平成十年八月一日付)
経理課 課員 國崎 美加
(平成十年九月一日付)
広報室 員 吉野 雅貴
(平成十年七月一日付)
配置換え
学生課係長 奥村 和弘(広報室係長)
広報室室員 今藤 寛(教務課課員)

一冊の本

「遅れてきたランナー」

灰谷 健次郎 著



大学 児童学科 中野 裕史

著者の灰谷さんは、私の兄弟子にあたります。といっても大学の時に数回しかお会いしていないので、忘れていたに違いないとは思いますが...共通の師匠はこの本の中に登場します。何の弟子かという「走」つまりランニングです。

タイトルにある「遅れてきたランナー」とは、皆より遅れて四十九才から「走ること」を始めた灰谷さん自身のことで、この本の前半は一種のランニング自伝のようになっています。走り始めたきっかけを皮切りに、義理走り、ホノルルマラソンでの惨敗、そして「走ること」に対しての意識変化などが語られ、「走ることとは自然を感じる」という灰谷さんの走る世界が展開されていきます。

途中では対談が収録されており、現代の様々な社会問題が「走ること」と結びつけられながら述べられ、本の後半では、「食生活」「住むこと」についての考えや実践も繰り広げられています。

すべてにおいて自然流、この本の根底にある哲学です。走ることとは自然の一部、走ってみようかなという気分させてくれる一冊です。



セロリ「CELERY」は、野菜の中でも最も古い歴史を持ち、ギリシャ文学の初頭を飾る2大叙事詩のひとつ「オデュッセイ」の中にセリオンの名で見られます。本学では、校章にもセロリを図案化しており、本広報誌の名称にも採用しています。



セロリ 第31号 1998年10月30日発行
編集：中村学園大学 中村学園大学短期大学部 広報室
〒814-0198福岡市城南区別府5-7-1
TEL 092-851-2531

〔ホームページアドレス〕<http://www.nakamura-u.ac.jp/>